

球磨支援通信

熊本県立球磨支援学校
平成30年9月 第2号



夏季休業中に特別支援教育に関する様々な研修を行いました。研修には、地域の各学校、関係機関の方々にご参加いただきありがとうございました。学んだことを今後の教育活動にぜひ生かしていただきたいと思います。球磨支援学校でも一人一人の教員が研修で学んだことを子供達の支援に生かし、地域へと発信していきたいと思っています。各研修の主な内容は次の通りです。

人吉球磨地域 特別支援教育指導力向上研修

～7.27～

公立学校の先生方を対象に特別支援教育に関する基礎的基本的内容等の研修が始まり今年で3年目となりました。以下の内容で研修が行われました。

- 研修1講義「発達障がい理解と支援(理論編)」
- 研修2講義「発達障がい理解と支援(実践編)」
- 研修3講義及び演習「個別的教育支援計画の作成と演習」

研修1・2では、「発達障がいのある子供達がどのようなことで困ることがあるのか」や「どのような支援が効果的なのか」ということ等を実践紹介等を交えながら講義がありました。研修3では、「個別的教育支援計画」の実際の作成をグループや個人で行い、作成の意義や方法の研修を行いました。



特別支援教育基礎講座

～8.2～

本校において地域の小中学校の特別支援学級担任等の先生方を対象に研修を行いました。



- ★研修1★
障がいの特性の理解について
- ★研修2★
教育課程の編成について
- ★研修3★ グループ研修
A:自立活動
B:個別的教育支援計画
及び個別の指導計画の作成

外部専門家活用事業研修

～8.23～

子どもの感情によりそうってどういうこと？ ～「正しい指導」から「ちょっと役に立つ指導」へ～

講師 医療法人精翠会 吉田病院 臨床心理士 上田富美子氏

前半は、「子どもの感情によりそつための基礎知識(基礎編)」ということで感情が育つプロセス等についての講話を、後半は、「子どもの感情によりそつためにできること(応用編)」としてワークショップを行っていただきました。

大人が「子どもの不快感情を承認するが、枠組み(約束したこと)は変えない」というかかわり方をするには非常に忍耐や労力が必要。しかし、そのようなかかわり方によって、

子どもは自分が大切にされている、愛されているということを感じて成長していく
→大切なのは、私たち大人が子どものネガティブな感情に静かに向き合える優しい強さが必要。

それが本当の意味での
「子どもの感情によりそつ」
ということかも。



との、私たちが日ごろ子どもたちとかかわる上で大切なことをご示唆いただきました。

10月14日(日)は、「くましえん祭」を開催します。多くの方のお越しをお待ちしております。

※何か気になられる事、困り事等ありましたら、迅速に対応いたします。
電話、FAXでお気軽にお問い合わせください。



問い合わせ先
熊本県立球磨支援学校
(教頭:土井、コーディネーター:山中)
TEL:0966-42-3792
FAX:0966-42-6938

